

令和元年度事業報告

公益財団法人 日本書道教育学会

1. 会議の開催

- ① 理事会 1 回、評議員会 1 回を開催した。

令和 2 年 3 月に予定していた理事会、評議員会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期とした。

2. 機関誌の発行

- ① 年齢および習熟度に合わせた『不二一般版』・『不二中高版』・『不二小学上級版』・『不二小学初級版』・『ぺんの力』を毎月発行、研究誌『書学』を継続発行した。

- ② 『不二』各誌の更なる充実を図り、伝統書道の研究と、その普及に貢献した。

《令和元年度各誌発行部数》

『不二一般版』	94,800部
『不二中高版』	64,950部
『不二小学上級版』	116,500部
『不二小学初級版』	81,800部
『ぺんの力』	37,750部
『書学』	2,600部
年間発行部数	398,400部

- ③ 初級版・上級版・中高版の会員を対象とし、段級や展覧会スケジュール等の管理ができる、「2020年度 不二書道手帳」を発行し、機関誌と共に同送物として贈呈した。

3. 月例競書審査会の実施

- ① 会員の段級認定を行うため、毎月 1 回、日曜日に実施した。令和 2 年 3 月の月例審査会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期とした。

- ② 昇格・昇段試験は、第 1 回令和元年 6 月、第 2 回 9 月、第 3 回 12 月、に実施した。第 4 回を令和 2 年 3 月に実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止、事態好転後に延期して実施することとした。

- ③ 平成 29 年度より、審査会においてバーコード使用による段級検索システムを導入。違反者、写真版候補者の段級検索がスムーズに行えるようになり、審査会の省時間化を実現。

4. 会友試験の実施

① 『不二一般版』第63回会友試験を令和元年11月に実施した。

・総受験者数7名	合格者	1名
----------	-----	----

・合格者累計数		751名
---------	--	------

② 『ぺんの力』第52回会友試験を令和元年11月に実施した。

・合格者累計数		218名
---------	--	------

5. 会員登録の実施

① 公認段級位制の確立の一環として『不二一般版』・『不二中高版』・『不二小学上級版』『ぺんの力』に於いてコンピュータによる段級管理を継続実施し、誌上およびインターネットによる結果発表を行った。

② 優秀作品はホームページで紹介した。

6. 表彰の実施

① 令和2年4月3日（金）如水会館に於いて開催予定であった「令和元年度優秀教場・教室長表彰式」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

令和元年度の表彰対象者は315名。表彰状、創立70周年記念墨を各対象者に送付し、新規優秀教場3名および、新規教室長37名の計40名には新たに認定教場、教室の標札を発行した。

② 優秀教室会員表彰を各教場・教室長の推薦のもと行った。表彰者は学生、一般の計267名。

7. 検定試験の実施

① 第59回全国書道検定試験

《師範試験》 令和元年 5月26日(日)実施

《司教・助教》 自宅試験(春) 令和元年 5月25日(土)～6月10日(月)

自宅試験(秋) 令和元年10月19日(土)～11月4日(月)

- ・ 師範合格者 1名
- ・ 司教合格者 5名
- ・ 助教合格者 16名(春7名、秋9名)
- ・ 合格者総数 22名
- ・ その他に書学院師範合格者 119名(書道)
- ・ 日本書道芸術専門学校師範免許状授与者 1名
- ・ これまでの師範取得者累計 16,610名

② 第39回全国ペン硬筆検定試験

《師範試験》 令和元年5月26日(日)実施

《司教・助教》 自宅試験(春) 令和元年5月25日(土)～6月10日(月)

自宅試験(秋) 令和元年10月19日(土)～11月4日(月)

- ・ 師範合格者 1名
- ・ 司教合格者 4名
- ・ 助教合格者 5名(春3名、秋2名)
- ・ 合格者総数 10名
- ・ その他に書学院師範合格者 23名(ペン)
- ・ これまでの師範取得者累計 1,312名

8. 文部科学省認定社会通信教育の実施

① 文部科学省認定講座

- ・ 「書道基礎科講座」「書道専攻科講座」「ペン習字基礎講座」
「ペン習字教育講座」「篆刻入門講座」の5講座を継続開講した。

② 併設講座

- ・ 「速習ペン字講座」「写経入門講座」の2講座を継続開講した。

③ 学習方法

通信講座の受講者には、一括して教材を配布し、提出された課題の清書作品は講師の添削・講評を付して採点結果を返送。各講座の所定の課程を修了した者には、文部科学省認定本通信教育修了証を授与。

④ 年間受講者数	
書道基礎科講座	118名
書道専攻科講座	31名
ペン習字基礎講座	341名
ペン習字教育講座	40名
篆刻入門講座	9名
速習ペン字講座	21名
写経入門講座	12名
合計	572名

⑤ 受講修了者表彰

- ・講座受講修了者の中で、成績優秀者を対象に文部科学大臣賞の授与を行う予定だったが、文部科学省からの選考要項遅延により受賞者は未定。
また、例年文部科学省の主催により開催されている文部科学大臣賞授賞式が令和2年4月24日に開催予定だったが、新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。
*文部科学大臣賞候補者 4名

⑥ 生涯学習インストラクター

- ・生涯学習1級インストラクター2名、2級インストラクター4名を社会通信教育協会の人材バンクに登録。現在まで1級延べ289名、2級延べ601名を登録。

9. 指導者育成事業

- ① 全国（神田・大阪・川奈・新潟・九州）5ヶ所の書学院に於いて、継続開講した。

I期受講生数 679名 II期受講生数 703名 III期受講生数 656名
・ 受講生合計 2,038名

② 夏季講座・冬季講座の開講

- ・夏季講座を令和元年7月11日（木）より9月5日（木）に実施した。「昇段試験対策講座」「お盆写経」等20講座を全国各書学院にて実施。
参加受講生 248名
- ・冬季講座を令和元年11月19日（火）より令和2年2月8日（土）に実施した。
参加受講生 116名

- ③ 書学院卒業式は新型コロナウイルス感染症の影響により延期。
 ・ 令和元年度卒業生 89名 うち師範取得者 85名

10. 公募展の開催

(ア) 第41回全国公募千字文大会（共催 日本書道藝術専門学校）

- ① 会 場 日本書道藝術専門学校・東洋文化不二研修所
 ② 会 期 令和元年9月21日（土）～ 23日（月）
 ③ 授 賞 式 令和元年9月22日（日）
 於 日本書道藝術専門学校および東洋文化不二研修所
 ④ 褒 賞 文部科学大臣賞、静岡県知事賞、伊東市長賞他
 ⑤ 総出品点数 **9,122点**
【毛筆・篆刻の部】 6,945点
 特別賞46点 特選1,018点 優秀1,374点
 秀作2,439点 佳作2,068点
【硬筆の部】 2,177点
 特別賞25点 特選310点 優秀427点 秀作762点 佳作653点
 ・ 本会発行の「不二一般版」・「ぺんの力」・「不二中高版」・「不二上級版」
 「不二初級版」令和元年10月号に於いて優秀作品を特集した。

(イ) 書初不二誌上展の実施

- ① 審査会 令和2年1月19日（日）
 ② 作品および成績発表 『不二』3月号誌上
 ③ 出品点数 **5,486点**
【小学生の部】 3,595点
 特選658点 金賞789点 銀賞1,078点 銅賞1,070点
【中学生の部】 521点
 特選97点 金賞116点 銀賞 156点 銅賞 152点
【高校生の部】 195点
 特選36点 金賞42点 銀賞 61点 銅賞 56点
【一般の部】 991点
 特選200点 金賞222点 銀賞 311点 銅賞 258点
【ぺんの部】 184点
 特選 34点 金賞 41点 銀賞 57点 銅賞 52点

(ウ) 第69回書道學會展

- ① 会場 第一会場 東京都美術館 2階 第3・4展示室
第二会場 東京芸術劇場 5階 ギャラリー1
- ② 会期 第一会場 令和2年1月4日(土)～10日(金)
第二会場 令和2年1月4日(土)～9日(木)
- ③ 授賞式 令和2年1月5日(日) 於 上野精養軒
- ④ 褒賞 内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞、中国大使賞、東京都知事賞他
- ⑤ 出品点数 656点(公募+役員)
- ⑥ 展示点数 620点(公募+役員)
- ⑦ 入場者数 6,697人

- ・ 本会発行の「不二一般版」・「書学」令和2年2月号に於いて役員、一般公募の優秀作品を特集し、また、ホームページで紹介した。
- ・ 「新和様」が第1部(創作)より第3部に移動となり、第1部(創作)は「漢字・かな」、第3部は「漢字造型・新和様」の部となった。

【第1会場】

公募出品数 275点
(第1部85点・第2部130点・第3部44点・第4部8点・第5部8点)
展示点数 455点(公募253点+役員出品202点)
公募展示点数 253点
(第1部78点・第2部117点・第3部42点・第4部8点・第5部8点)
役員出品点数 202点
(本年度審査員20点・審査会員60点・無鑑査122点)

【第2会場】

公募出品数 179点
(第1部24点・第2部90点・第3部59点・第4部6点)
展示点数 165点(公募165点)
(第1部22点・第2部81点・第3部56点・第4部6点)

(エ) 第69回全日本学生書道展

- ① 会 場 東京都美術館 2階 第2・3展示室
- ② 会 期 令和2年1月4日(土)～10日(金)
- ③ 授 賞 式 令和2年1月5日(日) 於 上野精養軒
- ④ 褒 賞 文部科学大臣賞、中国大使館賞、東京都教育委員会賞他
- ⑤ 出 品 点 数 2,845点
(内小学生1,589点+中高生1,256点)
- ⑥ 展 示 点 数 2,281点
(内小学生1,278点+中高生1,003点)
- ⑦ 入 場 者 数 3,392人

- ・ 本会発行の「不二中高版」・「不二上級版」・「不二初級版」令和2年1月号に於いて優秀作品を特集し、また、ホームページで紹介した。
- ・ 中学、高校の部において、「臨書」部門(半折1/3)を創設し、中学、高校それぞれ20点、合計40点の出品があった。
- ・ 第67回展より創設され、今年で3年目となる「一字書」部門では、初年度から181点増加し、377点の出品となった。

(オ) 第33回不二現代書展

- ① 会 場 大阪市立美術館での開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。
- ② 会 期 新型コロナウイルス感染症の影響により中止。
- ③ 授 賞 式 令和2年3月18日(水) ホテルニューオータニ大阪にて予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止。
- ④ 褒 賞 文部科学大臣賞、大阪府知事賞、大阪市長賞他
- ⑤ 出 品 点 数 336点
 - ・ 公募出品点数 223点(第1部164点・第2部59点)
 - ・ 役員出品点数 113点
(本年度審査員19点・審査会員49点・無鑑査45点)
- ⑥ 展 示 点 数 317点
 - ・ 公募出品点数 204点(第1部151点・第2部53点)
 - ・ 役員出品点数 113点
(本年度審査員19点・審査会員49点・無鑑査45点)
- ⑦ 入 場 者 数 - 人(新型コロナウイルス感染症の影響により中止のため)

- ・ 「不二一般版」・「書学」、令和2年4月号に於いて優秀作品と共に特集し、また、ホームページで紹介した。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止を鑑み、展覧会および授賞式を中止とした。
- ・ 展覧会中止のため作品の展示披露ができなかった、入選作品を含めた展示予定全作品を掲載した「書学」特別版図録を作成し、出品者に贈呈した。

1 1. 二百万卷写経推進事業

① 写経塔・筆塚供養祭の開催

令和元年10月6日（日）に東洋文化不二研修所に於いて供養祭を実施した。平成31年4月9日に写経浄写百五十萬卷に到達したことを記念し、四天王寺管長 森田俊朗猊下をお迎えし、「百五十萬卷達成記念供養祭」として開催した。

② 令和2年3月31日現在 納経巻数 1,511,088巻

1 2. 書道教育推進事業

① 日本書道藝術専門学校校長の主導により推進されてきた「書道教育特区」は、その教育成果、実績が認められ、平成21年度より「書道科書道」の授業が全国展開されるに至った。本会でも全国展開を受けて、引き続き静岡県内小学校14校と東京都新宿区の小学校1校への講師の派遣支援を行った。

② 「書道科書道」の指導者を養成すべく、神田書学院にて22年度より引き続き6月・平成2年2月に「子どもへの書道指導者養成講座」を開講、令和元年度まで延べ159名が受講し、累計26名が修了した。

1 3. 新和様・漢字造型書作家協会の活動

- ① 会報 35 号の発行
 - ・協会の各事業の報告と第 31 回色紙展および、第 12 回「漢字造型」と「傳統の寫經」展の全作品を収録し、会員に配布した。
- ② 第 31 回新和様・漢字造型書作家協会色紙展の開催
 - ・令和元年 8 月 30 日（金）より 9 月 1 日（日）まで、神田書学院に於いて開催
 - ・色紙作品 143 点を展示。
- ③ 第 25 回新和様・漢字造型書作家協会選抜展の開催
 - ・令和元年 7 月 16 日（火）より 21 日（日）まで、東京芸術劇場に於いて開催。
 - ・協会員の new 和様作品または漢字造型作品 82 点の他に、日本書道教育学会が発行している月刊書道誌「不二」の一字書部門の中から、特に優秀な作品を選抜し、展示。
 - ・協会員が日頃研究を行っている new 和様書と漢字造型書への研究成果を発表した。
 - ・「書学」令和元年 9 月号に於いて特集した。

1 4. 第 12 回「漢字造型」と「傳統の寫經」展

- ① 会期 令和元年 9 月 17 日（火）～ 22 日（日）
- ② 会場 東京鳩居堂画廊

1 5. 伊豆川奈東洋文化不二研修所

- ① 全国の会員及び書道学習者、日本書道藝術専門学校生徒、書学院受講生を対象として、宿泊研修の場を提供し、作品制作指導、資料の鑑賞・寫經の実践を行った。
- ② 自家発電機など、老朽化の進む施設の管理ならびに改修を行った。
- ③ 百五十萬卷達成記念供養祭開催に向けて、庭園管理の充実を図った。

16. 講習会・書道展の後援協力

- ① 全国の書道展・講習会に後援協力した。本年度後援件数 15件

17. 石橋犀水遺業顕彰活動

- ① 石橋桂一理事長、石橋智子評議員長監修の下、石橋犀水前会長の作品を特別紙に印刷した本格的アートカレンダーを刊行した。
- ② 不二研修所に保管してある石橋犀水前会長の作品を整理し、書道文化館（犀水記念室を含む）設立のための準備、調査を行った。